

令和 4 年 6 月 27 日

獣医学研究院

滝口 満喜 研究院長

北海道大学獣医学部
学内 Quality Assurance 委員会

共同獣医学課程の教育改善に関する提言

令和 4 年度第 1 回 Quality Assurance 委員会（6 月 14 日開催）におきまして、国際認証推進委員会から依頼がありました「2019 年 EAEVE Visitation Report での指摘に対する未対応事項」について検討いたしました。以下に記載した指摘事項および当委員会からの改善案についてご検討いただき、ご回答いただきたくよろしくお願い申し上げます。

1. 学内教員以外の教育スタッフに対する教育訓練が不十分である。
ティーチングアシスタント（TA）や研修医、学外教員に対しても、全学で実施されている教授法に関する FD 研修の受講を可能とする。
2. 試験の採点・評価の過程の非バイアス化が不十分である。
口頭審問での第三者の立ち合いや採点時の匿名化などの導入を検討する。バイアスがかからない選択問題やコンピューター（ELMS など）での採点、学生による自己採点なども適時活用する。
3. 北大・畜大共通の入学試験の実施が望ましい。
大学トップレベルでの検討が必要な事案であるため、北海道大学総長および帯広畜産大学学長に、EAEVE から指摘された旨を伝え、どのような将来展望を持っているのか回答を依頼する。
4. サバティカルシステムが利用されていない。
制度の内容を周知する。また、現状は教育業務の多さから取得が難しいことから、特に若手教員に対して海外派遣支援などの積極的な活用を促す。

以上

令和4年10月11日

学内QA委員会委員長

乙黒 兼一 先生

獣医学研究院長

滝口満喜

学部教育の質保証に係る取り組みにお礼申し上げます。以下に当面の対応についてご回答致します。

【提言1】学内教員以外の教育スタッフに対する教育訓練が不十分である点について
ティーチングアシスタント（TA）や研修医、学外教員に対しても、全学で実施されている教授法に関するFD研修の受講を可能とする。

<回答>

TA・TFについてはELMSを介してTA・TF研修会の動画を視聴できることを確認済みですので、録画動画を視聴するか、研修会に参加するよう周知致します。病院研修医および学外教員については、著作権の問題でTA・TF研修会の動画を閲覧することが難しい（学務部）とのことなので、高等教育研修センターによる教授技法のセミナーを受講するよう促します。加えて、病院研修医に対しては、採用時のオリエンテーションの一環として病院長から直接教授技法についてセミナーを実施していただくよう依頼しました。

【提言2】試験の採点・評価の過程の非バイアス化が不十分である点について
口頭審問での第三者の立ち合いや採点時の匿名化などの導入を検討する。バイアスがかからない選択問題やコンピューター（ELMSなど）での採点、学生による自己採点なども適時活用する。

<回答>

教務委員会で議論するよう教務委員長に指示いたしました。

【提言 3】北大・畜大共通の入学試験の実施が望ましいとの指摘について

大学トップレベルでの検討が必要な事案であるため、北海道大学総長および帯広畜産大学学長に、EAEVE から指摘された旨を伝え、どのような将来展望を持っているのか回答を依頼する。

<回答>

本件は非常に難題と思われ、事務方と対応を協議した結果、共同獣医学部であればまだしも共同獣医学課程という現状を踏まえた場合、共通入試の実施について総長に直接尋ねる案件ではないとの認識に至りました。むしろ、EAEVE 側に共同獣医学課程の実情を説明し、共通入試の実施は困難であることを丁寧に説明する必要があると考えます。

【提言 4】サバティカルシステムが利用されていないとの指摘について

制度の内容を周知する。また、現状は教育業務の多さから取得が難しいことから、特に若手教員に対して海外派遣支援などの積極的な活用を促す。

<回答>

ご意見ありがとうございます。制度について周知するとともに、若手教員に対して海外派遣支援などの積極的活用を促します。

令和4年12月6日

獣医学研究院

滝口 満喜 研究院長

北海道大学獣医学部
学内 Quality Assurance 委員会

共同獣医学課程教育懇談会に関する提言

令和4年度第2回 Quality Assurance 委員会（11月15日開催）におきまして、「共同獣医学課程教育懇談会の実施における学外委員からの指摘」について検討いたしました。以下に記載した学外委員からの指摘と当委員会からの改善案についてご検討いただき、ご回答いただきたくよろしくお願い申し上げます。

1. 新しく加入した委員にとってはこの懇談の目的がよく理解できない。

事前の資料配布だけでなく、特に新規や参加回数が少ない学外委員に対しては、個別に会議の趣旨や目的を説明する。

2. テーマについては事前に準備して委員と学生に伝えておくべきである。

学生との面談の議題については、その内容について教員が会議の中で学外委員に十分に説明し、それを受けて学生との意見交換を行えるようにする。

学生にも事前に議題内容を説明し、クラス全体の意見を集約できるようにする。

この指摘については、教務委員会や学生委員会など他の委員会に参加している学生に対しても同様の対応が望まれる。

3. この懇談会で学外委員の意見がどのように反映されているかわからない。

前回の会議で学外委員より提案された意見への回答を必ず行い、また次回の会議で予定されている内容についても、できるだけ説明する。

以上

令和5年1月30日

学内QA委員会委員長
乙黒 兼一 先生

獣医学研究院長
滝口満喜

学部教育の質保証に係る継続的な取り組みにお礼申し上げます。この度は共同獣医学課程教育懇談会の在り方についての学外委員からの指摘についてご検討いただきありがとうございました。以下に対応についてご回答致します。

提言1. 新しく加入した委員にとってはこの懇談の目的がよく理解できないとの指摘に対して、事前の資料配布だけでなく、特に新規や参加回数が少ない学外委員に対しては、個別に会議の趣旨や目的を説明する。

<回答>

今回、新委員に就任された久米氏と君島氏に対して、令和5年1月23日にオンラインにて共同獣医学課程とEAEVE国際認証の意義について、スライドと共同獣医学課程教育懇談会要項をもとに説明させていただきました。今後も新規委員については、同様の説明会を適宜実施して参ります。

提言2. 委員と学生との懇談テーマについては事前に準備して委員と学生に伝えておくべきとの指摘に対して、懇談内容について教員が会議の中で学外委員に十分に説明し、それを受けて学生との意見交換を行えるようにするとともに、学生にも事前に議題内容を説明し、クラス全体の意見を集約できるようにする。

<回答>

学生との懇談については学外委員の強い要望で開催しているものではありませんが、今回は進行役との事前打ち合わせが不十分であり、委員の皆様にご迷惑をおかけしてしまったことに対しては率直に反省しております。今後は事前に懇談内容についてお知らせし、進行役とも十分な打ち合わせをして有意義な会としたいと思いをします。

提言3. この懇談会で学外委員の意見がどのように反映されているかわからないとの指摘に対して、前回の会議で学外委員より提案された意見への回答を必ず行い、また次回の会議で予定されている内容についても、できるだけ説明する。

<回答>

承知しました。今後、そのように対応いたします。